# ヤングこだま

## 吉賀高

小・中・高校生から専門学校、大学生まで、若い人たちの意見を特集するコーナー「ヤングこだま」です。今回は島根県立吉賀高校1年生の皆さんです。学校、学級単位での投稿を募っています。投稿希望の学校は「ヤングこだま」係・電話0852（32）3305までご連絡ください。

### 高津川起点に住む町活性化

1年　桑名　颯司

私たちは今、「アントレプレナーシップ（起業家精神かん養）教育」というものを受けている。その中で私たちは、自分たちが住む町を活性化させるためには、町の中を流れている高津川を起点にすればいいと考えた。

そこで、日本で一番人口が多い東京に実際に行き、自分たちの町と比較してみた。東京では、川の近くにお店を開いて人気スポットにしたり、イベントをたくさん開いたりしていた。また、環境改善のためにボランティアの方々と川の清掃も行っていた。

東京都庁にも伺ってアドバイスをいただいた。吉賀町の川はとてもきれいだから、そのきれいさを生かしたらいい、とアドバイスを受けたので、夏などに川遊びや魚捕りなどのような、川を使ったイベントを企画しようと思った。

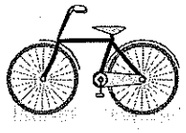
### 危険感じたら免許の返納を

1年　岡本ひなた

昨年は高齢ドライバーが起こした交通事故のニュースが、テレビや新聞で多く取り上げられていたように思います。2020年度には高齢ドライバーによる事故が減ることを望みます。

特に印象に残っているのは、87歳の男性が運転する車が暴走し、11人が死傷した東京・池袋での事故です。その事故で家族を失った人の気持ちはつらく悲しいものであり、二度と繰り返してはなりません。

私にも祖父母がいて、2人にはこんな事故を起こしてほしくありません。祖父母が住む地域では車を使わずに生活することは困難ですが、未来のことを思うと、私は2人の車の運転が少しでも安全ではないなと感じたら、2人に運転免許を返納することを勧めようと思います。



日本は高齢化社会で、今後も高齢者が増えていくと思われます。自分の運転の危険性には自分で気付くことができません。私たちが免許の返納を上の世代に勧めて、少しでも高齢者による事故が減ることを望みます。

現在、映画『高津川』が上映中なので、近いうちに映画に出演している俳優の方か監督とも話をしてみたい。そして、そこで話したことをインターネットなどで全国に広め、吉賀町や高津川の美しさを知ってもらえたらいいな、と思う。

### 人がつながる日々を大切に

1年　吉井　美咲

私は、2019年度にしまね留学として千葉県から吉賀高校に入学しました。環境ががらっと変わり、いろいろな変化がありました。

その中で、私が一番に感じたことは「人のつながり」です。昨年の5月、私は寮の前で火事があったのを見ました。その時に、クラスの中で「火事の片付けのボランティアをしないか？」という声が上がりました。それを聞いた時、地元の中の見えないつながりを感じることができました。

また、寮の中で生活していくうちに、私は家族のありがたみを実感しました。寮では自分のことは自分でしなければなりません。今までいろいろな家事をこなしてくれていた母のすごさを改めて感じることができました。

そして、島根に来てみて、千葉で暮らしていたら出会えなかった人にもたくさん会うことができました。私はそれらの皆さんや、私を応援してくれている家族にもとても感謝しています。

だから、2020年は家族やここで会った人に恩返しをしたり、感謝をたくさん伝えられる年にしたいです。そして、ここで暮らす日々を大切にしたいです。

### 周りが笑顔あふれるように

1年　深川　心優

私の今年の目標は「笑顔」です。自分自身がいつも笑顔でいられることはもちろん、それに加えて周りの人も笑顔にしたいです。

なぜなら、昨年はテニスの大坂なおみ選手が全豪オープンで優勝したり、ラグビーW杯日本大会で地元の日本が8強入りを果たしたりと、うれしいニュースがたくさんありました。日本中がうれしさであふれていたように、笑顔もあふれさせたいなと思ったからです。

そのために、私は主に二つのことを頑張りたいです。一つ目は勉強です。高校2年生になるので、進路を意識して取り組みたいです。二つ目はボランティア活動やアントレプレナーシップ教育を通して、積極的に地域の人と関わることです。お年寄りの方が多い吉賀町では、若い人が関わることによって、お年寄りの孤独感を少しでも減らすことが可能だと思うからです。

日本中を笑顔にすることは不可能かもしれないけど、私の周りからは少しずつでも笑顔であふれるようにしていきたいです。

## 「新年の願い」（高校生版）

# 春のひろば

## 俳句

◇まほろば句会二（美郷町）

風音を冬の走りと思ひ聞く　服部　康人
江の川流れ静かに冬に入る　高田　登子
猿の害なくて豊作落花生　高橋　浩子
敗荷や秘めたる力未来へと　高橋　和子
手作りの箒試さん落葉掃く　森田佳代子
天高し忖度のなき世の欲しき　中原　房枝
秋の日や母との散歩小半日　田部　礼子
空よりも青き宍道湖小鳥来る　石田　照子
畦草の陰に茶の花見えそめし　渡辺　光広

◇清流句会一（美郷町）

生き急ぎたる友の地や冬ぬくし　服部　康人

## 私の作品

◇三葉句会（浜田市）

待ちし詮ありて紅濃き冬紅葉　田中　静龍
勝敗の一気に定まる相撲みる　三浦　幸子
ダム青し囲む湖畔の櫨紅葉　文野　弘子
干柿のすだれ手入れや日に晒す　堀本　満子

◇花藻句会二（益田市）

残照の山の裳裾や荻の原　大庭　洋子
あつけなく過ぎし一年石蕗の花　潮　良子
石鎚山や秋天突きて聳へたり　能美　紀子
収穫祭一座招かれ傘踊　城市　勤女
現し世の落葉をめでる寺の庭　神一　邦子
立冬やシベリア帰りの父思ふ　大上　馨子
水獻ふわが指の先今朝の冬　幸田　充子

◇池河句会（津和野町）

すらすらと秋の七草言ひし人　青木　道子

## 女子ログ

冬休みの勉強になった。私は知る限り分の知ったりして驚くことも習わないのね。

ある時、文法の内ねたら「イマジンの人と答えが返ってきた。はレッスン1とかだト1とか言うのね。ン・レノンの曲にま

きょうの歴史

▽1969年闘の学生らに対学生排除の実力夕までに封鎖は